

(仮称)

宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト



みやまえ
取り組み隊
再始動!

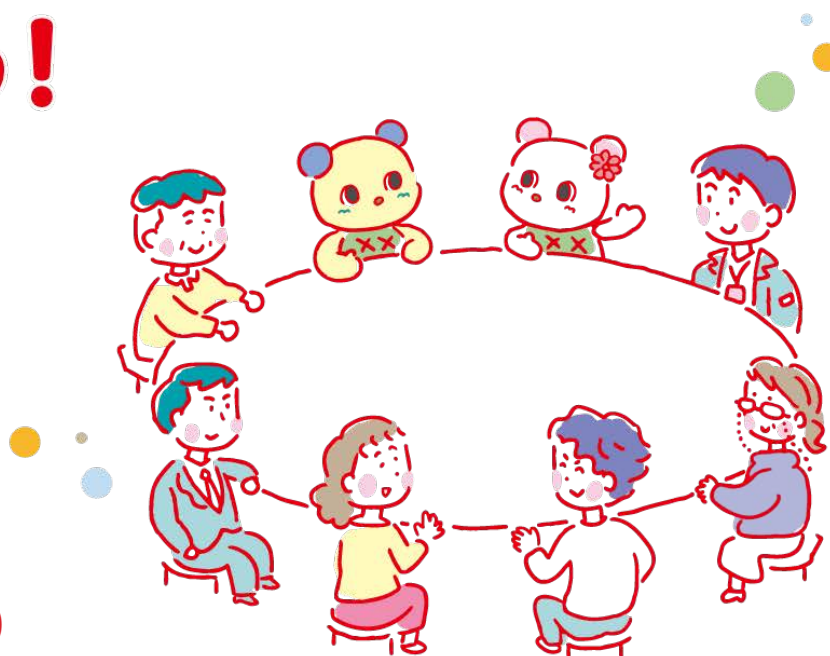
宮前区らしいしくみ

「ラウンドテーブル」を お試し実施しよう!

ミーティング 1

キックオフ

令和3 (2021) 年
11月3日 (水・祝) 13:30~16:30



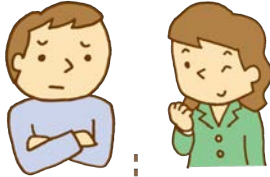
ワークショップ全体の目的

- 宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施してみよう！
- お試し実施の体験をもとに、宮前区らしいソーシャルデザインセンターとは？を具体的にまとめよう

「ラウンドテーブル」とは？

プロジェクトオーナー

必要な情報が
シニアに
届かない…

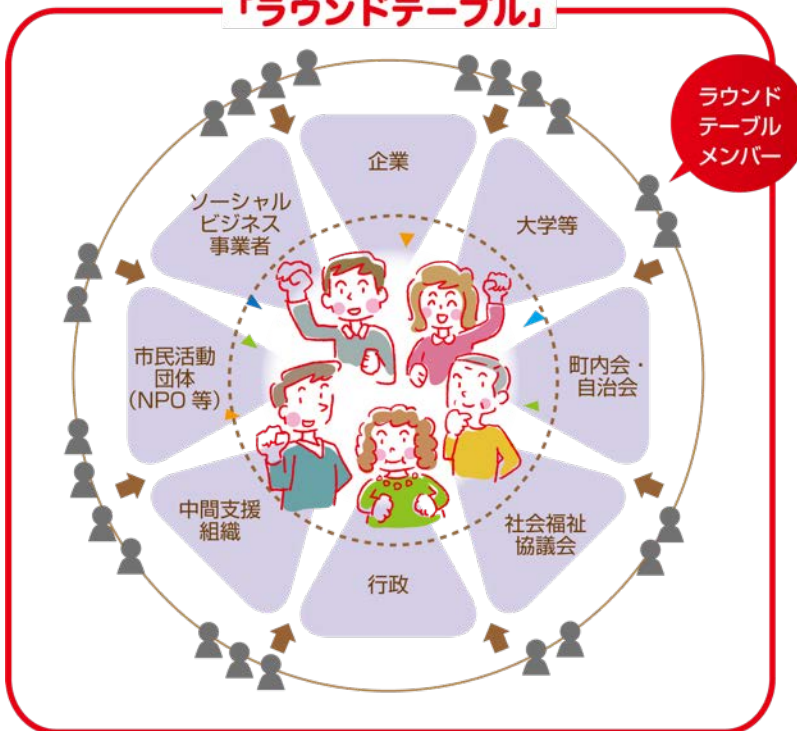


まちでもっと
交流できる場を
つくりたいな！

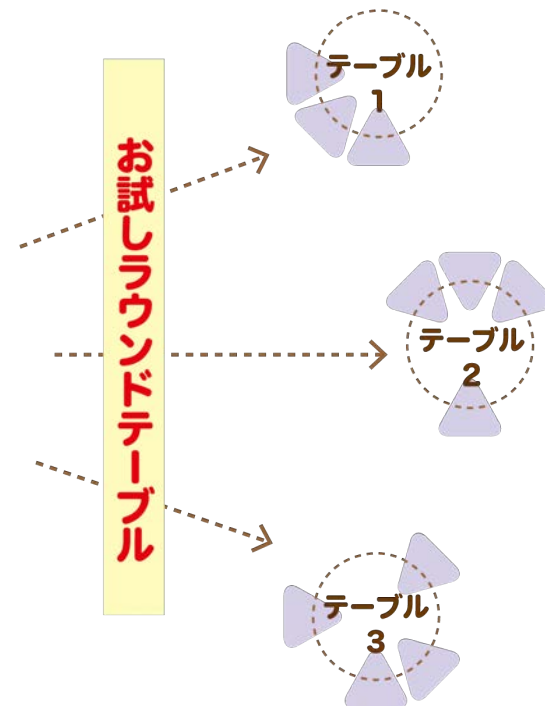
課題・実現したいこと

多様な主体が 協働・連携する プラットフォーム

「ラウンドテーブル」



多様な主体が 協働・連携する プラットフォーム



ワークショップ全体のスケジュール

全3回のミーティングを開催します



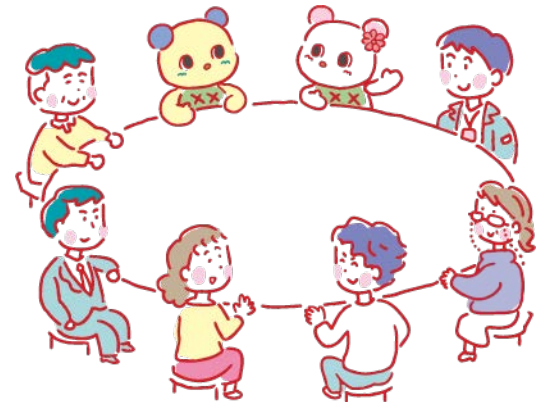
本日の目的

ミーティング 1

これまでの活動を
振り返り、
これからの取組を知ろう



お話し
ラウンドテーブルを
キックオフしよう



プログラム

第1部

これまでの取組の振り返りとこれからの取組（45分）

- 13:30 ① あいさつ・目的と進め方（5分）
- 13:35 ② 川崎市のコミュニティ施策とは？
③ 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト（25分）
- 14:00 ④ 公共施設の地域化（5分）
- 14:05 ⑤ 宮前区らしい（仮称）ソーシャルデザインセンター像とは？
今年度の目的と進め方（10分）

14:15 休憩（15分）

第2部

お試しラウンドテーブルをキックオフしよう（120分）

- 14:30 ⑥ お試しラウンドテーブルとみんなの役割（10分）
- 14:40 ⑦ プロジェクトの紹介（20分）
- 15:00 移動
- 15:05 ⑧ グループワーク：お試しラウンドテーブルをキックオフしよう（55分）
- 16:00 ⑨ 全体共有（25分）
- 16:25 まとめ・今後の予定・事務連絡
- 16:30 終了



これまでの取組の振り返り

②

川崎市の コミュニティ施策 とは？



「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」知っていますか？

★いつできたの？ ⇒ 平成31（2019）年3月（2年間かけて検討）

1 コミュニティ施策の目的は？ ⇒ 「希望のシナリオ」の実現

2 なぜ必要なの？

⇒ 将来的には確実に「超高齢・人口減少社会」が来るので、
参加と協働による地域課題の解決が必要

3 進め方は？

⇒ 行政計画：現状分析→課題に対し計画的に目標設定

今回の進め方：常にプロセスを大切にする

市民と一緒に作り、職員の意識も変えていく

各区同じではなく、型にとらわれることなく
チャレンジ

「希望のシナリオ」って？

様々な個人や団体が出会い、
それぞれの思いを共有・共感することで生まれる相互作用により
これまでにない活動や予期せぬ価値を生み出す
「市民創発」のちからで

豊かなつながりや 居場所があり
弱い立場にあるひとも含めて
みんな幸福で 誰もが認められる社会が ずっと続いていくこと

10年後を目標に そんな地域の実現を目指すのが
「希望のシナリオ」

「希望のシナリオ」を絵に描くと…

移動店舗

買い物に行くのが大変な高齢者等の強い味方。お客と販売員、お客同士といったつながりをつくります。

音楽フェス

道路や広場など、いつもの場所が特別な場所に。非日常体験がまちの遊び心を満たす、これも一つの「まちのひろば」です。

マルシェ

生産者と消費者の出会いの場。物や言葉のやりとりから何かが生まれ、まちの空間が変わります。

商店街

地元商店街の私のお気に入り。行きつけのお店ができれば、そこに行くだけでほっとできる地域の居場所。自然と井戸端会議が始まります。

防災訓練

その日に備えて。誰もが関心のある防災。防災訓練をきっかけに顔の見える関係を築きます。

森の遊び場

～プレーパーク～
ワクワク・ドキドキ、子どもたちは遊びの天才！自然の中で創造力を育みます。

居酒屋街

居酒屋は大人の社交場！兄知ぬ人と意気投合したことはありませんか。飲む人も飲まない人も楽しみながら人とながる出会いの場です。

町内会館、認知症カフェ、

こども食堂、緑側

町内会館や自宅を開放した認知症カフェ。こども食堂はまちの食堂。家の中と外をつなぐ空間の緑側も使って、誰でも気軽に参加しやすいです。

河川空間、河川敷

水辺では思い思いのアクティビティ(活動)が行われています。

ソーシャル デザインセンター

人や団体・企業・資源・活動をつなぐコーディネート機能やプロデュース機能などを有し、まちにちょっと新しい何かを生み出す空間です。

古民家改修、DIY、ゲストハウス

空き家をDIYでリノベーション(修復、再生)。誰もが気軽に集える出会いの場や、地域活動の場として生まれ変わります。

シェア農園

まちを耕す。育てる喜び、食べる喜び、分け合う喜び、楽しさもシェア。手塩にかけて丁寧に丁寧に。仲間づくりと一緒に。

コワーキングスペース

地域での新しい働き方を提案。色々な分野の人たちと刺激し合い、つながることで、新たなビジネスが生まれ、地域の活性化につながる(かもしれない?)。

もう 宮前には
いっぱいあるね

10年後の
川崎のミライ

「市民創発」を進めるしくみは？

H31.3「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」より

■区域レベルの新たなしくみ

各区に **ソーシャルデザインセンター**をつくろう

＜こんな機能が整うといいね♪＞

- ・ 人や団体・企業、資源・活動をつなぐ
- ・ 活動支援、資金助成、相談、情報収集する
- ・ 地域の担い手や社会的企業家などを育てる
- ・ 新たな参加や交流のきっかけを作る

■地域レベルの新たなしくみ

地域の居場所 **「まちのひろば」**を増やしていこう

＜どんな場所？＞ 場所があるといいけど、空間に限定しないし、常設でなくてもいい

＜そこでこんなことができたらいいいね♪＞

- ・ ふらっと立ち寄ると、お馴染みの誰かに会える
- ・ 自分の居場所で地域のつながりが探せる
- ・ 事業者等と連携して、地域の困りごとが解決する などなど…

進め方は？

トライ アンド エラー (失敗を恐れずに)

+

スモール スタート (できることからでいいよ)

でも、できることから、スピード感を重視して進め、
効果が早く見えてくると、**エンジン**がかかるはず！



これまでの取組の振り返り

③

宮前区で 進めてきたこと

これまでの
宮前区の「希望のシナリオ」
実現プロジェクトの取組

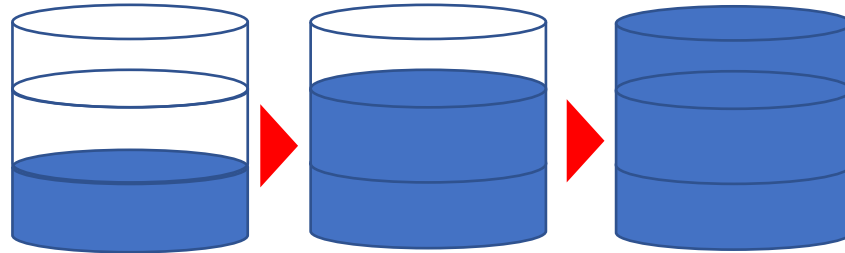
宮前区で大切にしていること

ポイント①

いつまでに 何をつくるか
最初に決めないのが「肝」

・これまでの行政手法

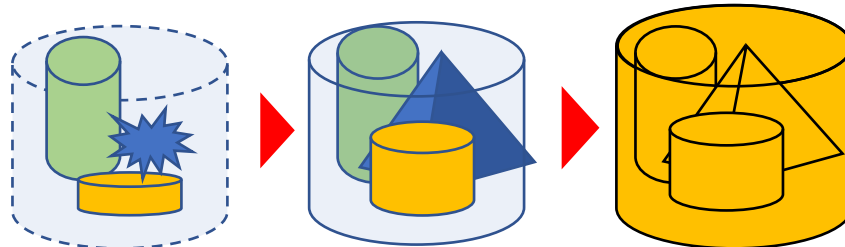
3年間で段階的に整備する



- ・ 計画的に進行
- ・ 硬直的・安定感
- ・ 先が見通せる
- ・ きっちり感
- ・ 与えられたモノ

・今回のやりかた

仮に結果は同じでも、プロセスは異なる



スモールスタート & トライアンドエラー

- ・ 計画性が低い
- ・ 流動的・不安定
- ・ 先行き不透明
- ・ ワクワク感
- ・ 自分たちのモノ



宮前区で大切にしていること

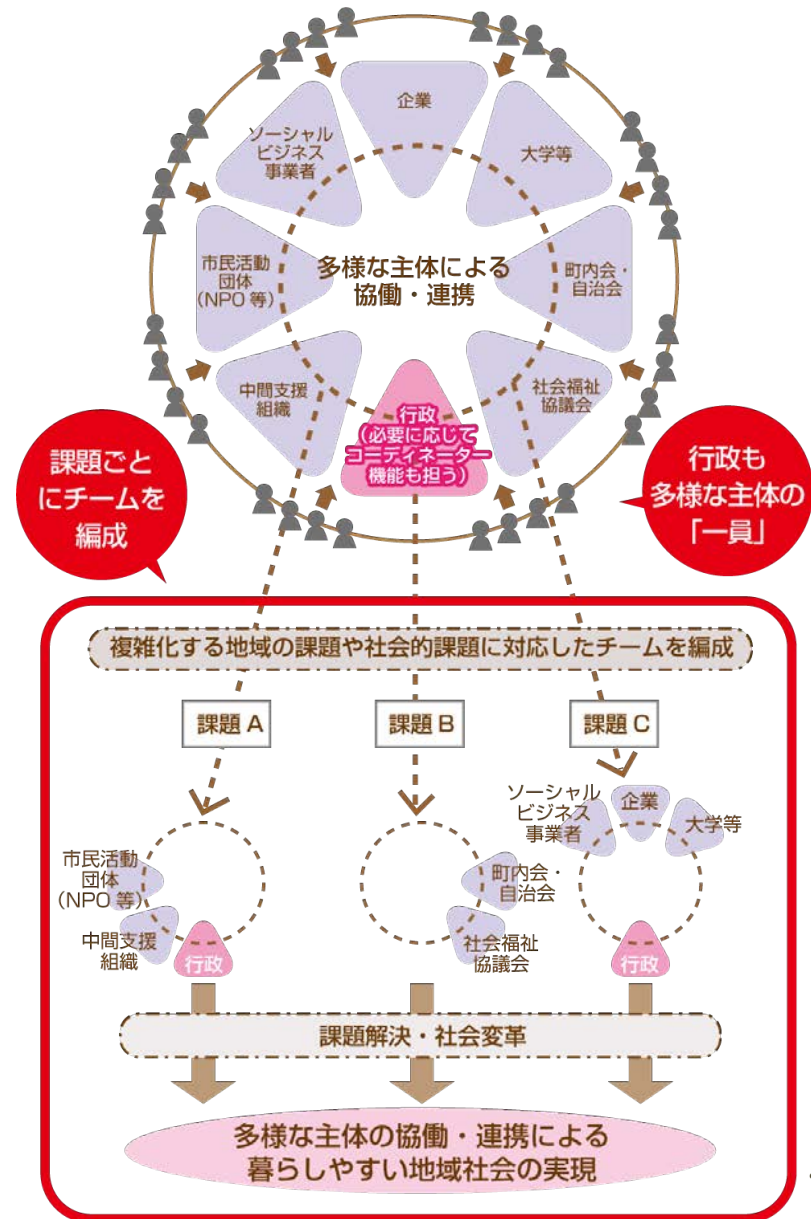
ポイント②

行政も多様な主体の
「一員」

区民のみなさんと
一緒に考えます

目指すべき「これから」の社会の
イメージ図

(川崎市協働・連携の基本方針より)

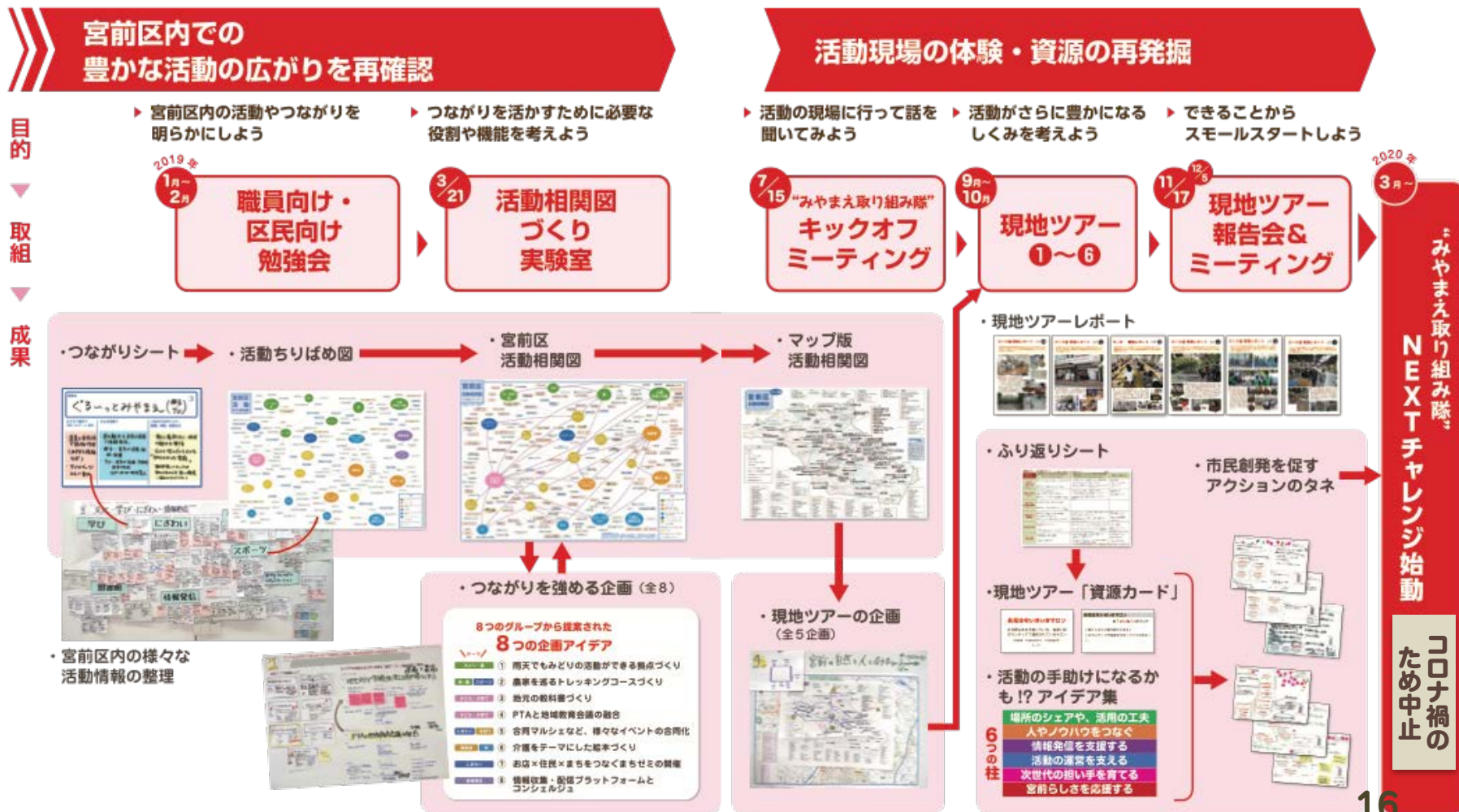


宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクトの取組ステップ

2018年から、皆さんと現場に足を運びながら、
宮前区らしい「しくみ」について考えてきました

平成30年度（2018～2019年）

令和元年度（2019～2020年）



平成30年度（2018～2019年）の取組：

宮前区内での豊かな活動の広がりを再確認

職員向け 事前勉強会



区民向け 事前勉強会



活動相関図づくり 実験室



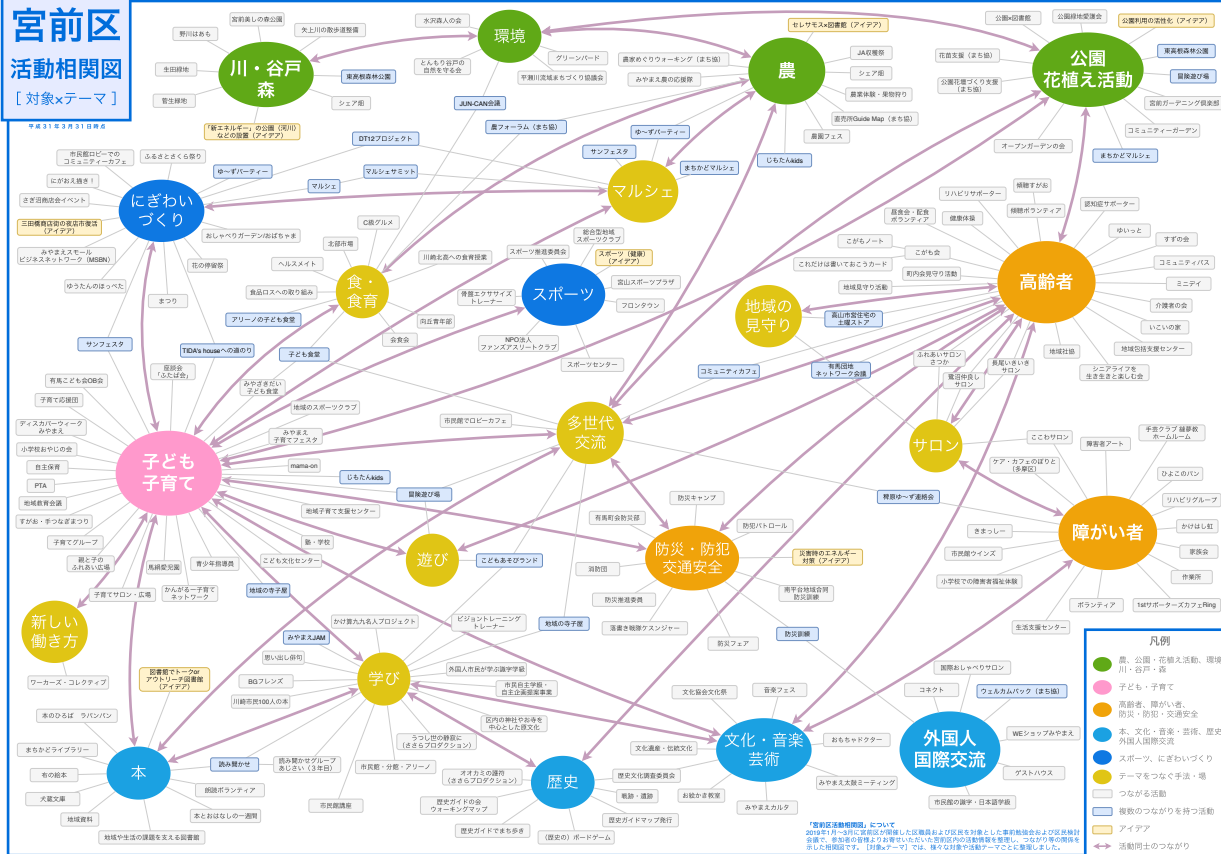
区内の活動や「つながり」を
明らかにするために、
宮前区内の様々な活動の情報を
出し合いました

勉強会と“実験室”で寄せられた 活動と活動同士のつながりを整理しました

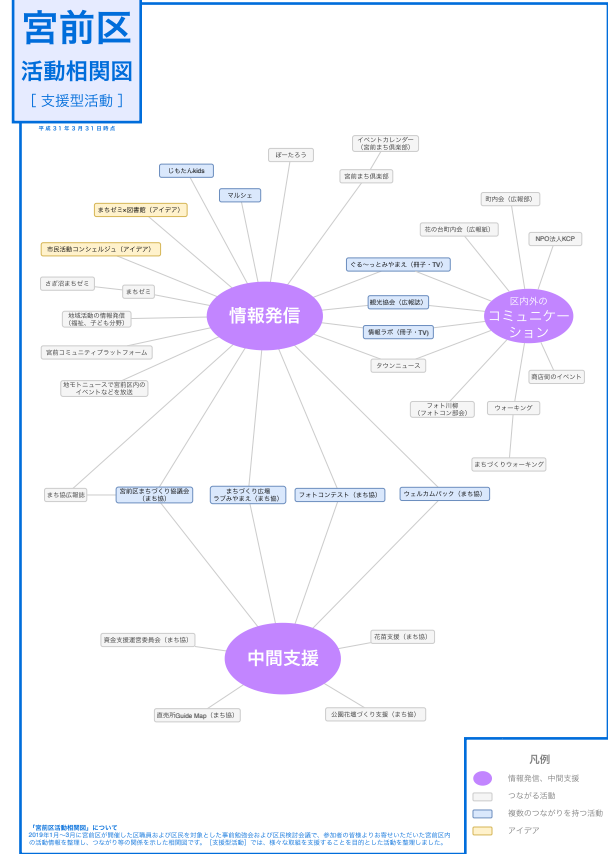
対象・テーマ別の活動

支援型活動

宮前区
活動相関図
〔対象×テーマ〕



宮前区
活動相関図
〔支援型活動〕



令和元年7月15日現在

宮前区

活動相関図

凡例	
●	活動
⊙	区役所
■	文化・スポーツ施設
□	病児保育施設
□	小学校・中学校・高等学校
□	子育て施設
□	こども・青少年施設・児童福祉施設
□	福祉ハル・社会福祉協議会
□	老人福祉センター・老人いこいの家
□	地域包括支援センター
■	障害者相談支援センター

- 川・谷戸・森
- 宮前美しの森公園
- 矢上川の散歩道整備
- シェア畑
- 新エネルギー」の公園(河川、などの設置(アイデア))

- グリーンバード
- JUN-CAN会議

- 農家めぐりウォーキング
- 直売所Guide Map(まち)
- 農フォーラム(まち協)
- セレサモス×図書館(アイ)

- シェア畑
- 農業体験・果物狩り
- じもたんkids
- JA収穫祭

- 公園緑地愛護会
- 宮小・土橋小で花植え(宮前第3)
- 花苗支援(まち協)
- 公園花壇づくり支援(まち協)
- オープンガーデンの会
- 公園x図書館
- 公園利用の活性化(アイデア)

- 情報提供**
- 宮前区まちづくり協議会(まち協)
 - まちづくり広場(まち広やえま(まち協))
 - フォトコンテスト(まち協)
 - ウェルカム100(まち協)
 - まち協広報誌
 - 宮前まち倶楽部
 - イベントカレンダー(宮前まち倶楽部)
 - じもとkids
 - マルシェ
 - ぽんたろー
 - 地域活動の情報発信(福祉、子どもなど分野)
 - 宮前コミュニティプラットフォーム
 - 地もにゅえで宮前区内のイベントなどを放送
 - のちみこみよ(親子・TV)
 - 観光協会(広報誌)
 - 情報Cラボ(親子・TV)
 - タウンニュース
 - まちまぜ
 - まちまぜ・図書館(アイデア)

- 区内外のコミュニケーション**
- 花の台町内会(広報紙)
 - 町内会(広報部)
 - NPO法人KCP
 - フォト川柳(フォトコン協会)
 - ウォーキング
 - まちづくりウォーキング
 - 商店街のイベント

- 資金支援運営委員会(まち協)
- 直売所Guide Map(まち協)
- 花苗支援(まち協)
- 公園花壇づくり支援(まち協)

- C級グルメ
- ママ友ランチの会
- 食品ロスへの取り組み
- ヘルスメイト

- ウェルカムバック(まち協)
- 国際おしゃべりサロン
- コネクト

- ツ推進委員会
地域スポーツクラブ
クササイズトレーナー
主人ファンズアスリートクラブ
ツセンター
ツ(健康)(アイデア)

- ランディア
はなしの一週間
ろば ランパンパン
料
本
生活の課題を支える図書館
でトークor
リーチ図書館(アイデア)

- にぎわいづくり
- まつり
 - マルシェ
 - マルシェサミット
 - おしゃべりガーデン/おばちゃま
 - みやえスモール
 - ビジネスネットワーク(MSBN)
 - にがえ描き!
 - 三田橋商店街の夜店市復活

- 生活支援センター
- 小学校での障害者福祉体験
- 手芸クラブ 縫製教ホームルーム
- リハビリグループ
- 障陽ゆうず連絡会
- かぴはし紅
- 家族会
- 作業所
- ボランティア
- 21会(男性ボランティアによる高齢者障害者サポート)
- ケア・カフェのぼりと(多摩区)

- 馬絹・大塚で朝のあいさつ運動
- 防犯パトロール
- 有馬町会防災部
- 消防団
- 防災推進委員
- 防災訓練
- 南平台地域合同防災訓練
- 防災キャンプ
- 災害時のエネルギー対策(アイデア)

- の寺子屋
館・分館・アリーナ
館講座
自主学校・
企画提案事業
算九丸名人プロジェクト
フレンズ
短歌会
ヨントレーニング
ナー
の神社やお寺を

- 文化・音楽・芸術
- 宮前老人福祉センター
 - 音楽フェス
 - 文化協会文化祭
 - おもちゃドクター
 - 文化遺産・伝統文化
 - ひまわり(絵)
 - みやまえ太鼓ミーティング
 - お絵かき教室
 - みやまえカルタ
 - 壺岳吟詠会
(コウガクシンエイカイ)

- 歴史**
- 宮前の歴史を学ぶ会
 - 歴史文化調査委員会
 - 戦跡・道跡
 - 歴史ガイドの会ウォーキング
 - 歴史ガイドマップ発行
 - 歴史ガイドでまち歩き
 - 古文書を読む会
 - (歴史の)ボードゲーム
 - みやまえ・東部62部隊を語り継ぐ会

- コミュニティカフェ
- 子ども食堂
- 地域の寺子屋
- 陣原ゆへず連絡会
- 川崎市政を礼する会

- 町内会見守り活動
- 地域見守り活動
- 介護者の家
- こいの会
- 地域包括支援センター
- 地域社協
- 健康体操
- コミュニティカフェ
- 認知症サポーター
- 姉妹ボランティア
- 姉妹すお
- リハビリサポーター
- 昼食会・配食ボランティア
- ゆいとし
- こがも会
- こがもノート
- これだけは書いておこうカード
- ミニライブ
- シニアライブを

令和元年度（2019～2020年）の取組：

活動の体験・資源の再発掘

キックオフ



行ってみたい
活動現場を出し合い、
現地ツアーを
企画しました



現地ツアー（全6コース）

さまざまな現場で
困っていることや
工夫していることを、
見て・聞いて・
体験してきました



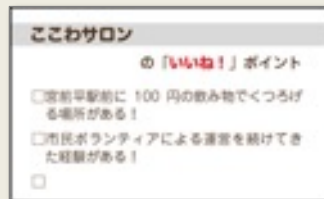
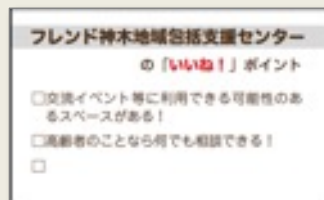
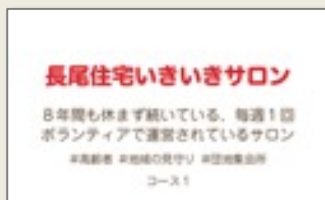
令和元年度（2019～2020年）の取組・成果： 活動の体験・資源の再発掘

現地ツアー①～⑥ 開催レポート



ツアーの内容を紹介

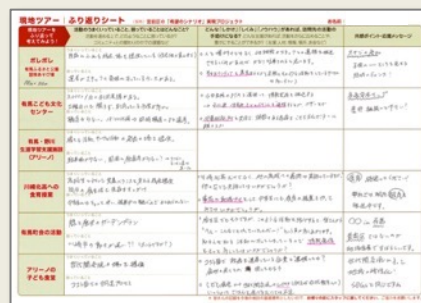
現地ツアー「資源カード」 全34枚



現場に行ったからこそ
見えてきた
活動の特徴や
「いいね」ポイントを
集めました

活動の手助けになるかも!? アイデア集

各ツアーの**気づき**等を書いた
「ふり返しシート」



「みやまえ取り組み隊」の
活動の手助けになるかも?!

6つのアイデアの柱

人やノウハウをつなぐ

場所のシェアや活用の工夫

情報発信を支援する

活動の運営を支える

次世代の担い手を育てる

宮前区らしさを応援する

令和元年度（2019～2020年）の取組：
活動の体験・資源の再発掘

報告会&ミーティング（2 回開催）



ツアーで見つけた
場所やノウハウを使った
市民創発を促す
アクション案を考え、
協力者を募りました

市民創発を促す
「アクション」のタネ
を考えました

＼“みやまえ取り組み隊”の
活動の手助けになるかも？！

人やノウハウをつなぐ

場所のシェアや活用の工夫

情報発信を支援する

活動の運営を支える

次世代の担い手を育てる

宮前区らしさを応援する



現場で見つけた
「**資源**」を使って…

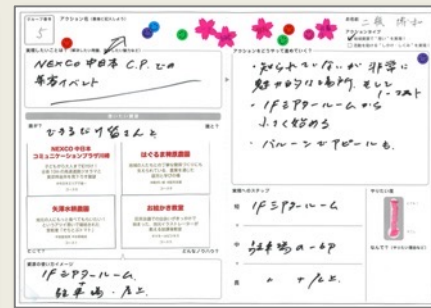
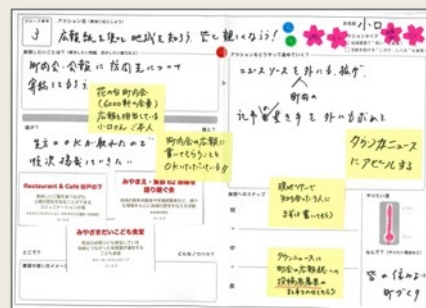
8年間も休まず続いている、毎週1回ボランティアで運営されているサロン

DIYで空き家をリノベしてつくった、
野川エリアの子どもやママたちの
新たな集いの場

☐ 交流イベント等に利用できる可能性のあるスペースがある！

☐ 運動者のことなら何でも相談できる！

- 宮前早稲前に 100 円の飲み物でくつろげる場所がある！
- 市民ボランティアによる運営を続けてきた経緯がある！



▶▶▶ これまでの「希望のシナリオ」プロジェクトの取組

実際に起こった 市民創発型の活動



エンジョイ・シニア大文化祭

2019年11月10日（日）@特別養護老人ホームフレンド神木



参考) タウンニュース | 2019年11月15日号
土橋在住西村さん 多世代交流でシニア応援 地域包括センターと連携
<https://www.townnews.co.jp/0201/2019/11/15/506253.html>

花の台町会広報誌

2020年3月1日（日）第59号

現地ツアーで出会った小倉美恵子さんによる寄稿が実現！

参考）花の台町内会 | 広報誌
<http://home.b05.itscom.net/hana-dai/profile1011.html>

「互いに認め合い、共に創る新たな暮らし」

＊小倉 美恵子

「田園都市線が敷かれるまでは、人の住めない山林原野だった」それがこの地域の定説になっていると知った時、土橋に15代続く農家に生まれ育った私は、ここにも遥か昔から人の暮らしがあったことを知ってほしいと強く思うようになりました。無住の山林原野でなければ、か、「谷戸」と呼ばれる独特の地形に人は丹念に細やかに手をかけて、風土と折り合い暮らしを育んできました。

その生活文化を伝えるために映画『オオカミの護符』を作り、書籍も生まれました。「通勤に便利」という理由でここに移り来た人も、地

域への愛着を感じて下さる方が増えており、「伝えること」の大切さを味わっています。

映画が機縁となり、新たにカフェ＆レストラン「谷戸の下」も生まれました。我が家の屋号を名乗るこの場合は、先祖伝来の「一枚の畑」の作物でお料理を供します。背景の異なる新・旧住民が力を出し合い、互いを認め合い、“旧きに学び新たな生活文化を育てること”を目指します。

＊（株）ささらプロダクション代表、文筆家



『オオカミの護符』（新潮文庫）は、一人の少女が自宅土蔵の扉に貼られた「オオカミの護符」が気になったところから物語は始まります。土地の古くからの奥深い文化の存在を教え私たち新住民に課題を投げかける本です。

令和2年3月1日

花の台町内会広報 第59号

(1)

この会は会員相互の親睦と互助をはかり、会員の福祉の増進と、明るく住みよい町づくりに寄与することを目的とする。
 （花の台町内会会則より）

第59号

花の台

発行責任者：田村 伸一郎
 編集：広報部 小口 直弘
 宮前区宮前平 3-4-16 宮崎台ハイイツ 1F
 TEL/FAX 044-767-7502
 Mail: hanaodai@o04.itscom.net
 花の台町内会館 開館日
 毎週火・金曜日 10時～12時
 花の台町内会 HP はコチラ⇒



新年賀詞交歓会

令和2年1月12日（日）

J A セレサ川崎宮崎支店 2 階大会議室にて開催

新年のご挨拶

～町内会活動は新しいステージへ～

花の台町内会
 会長 田村 伸一郎



新しい年の開幕、誠にありがとうございます。会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年10月の台風第19号は市内に甚大な被害をもたらしました。今回の災害では、町内会・自治会などの地域での支え合いの大切さを目の当たりにすることが非常に多く、改めて日頃から顔の見える関係づくりが時に命を救うことを実感いたしました。防災対策だけでなく、私たちが生活する中で存在するさまざまな課題を解決していくためには、そこに住む皆さまの個々の強みを互いに活かして「地域力」を高めていくことが大事だと感じています。特に、

転入者が増加している当町内会においては、盆踊り大会、運動会、防災訓練などのイベントを通じて、地域の絆をはぐくみ、地域で支え合えたと思います。今後も引き続き、公園体操、防犯パトロール、公園清掃など身近な場所で子どもから高齢者まで世代を超えて集える場を大切に交流を図って参りたいと思います。是非、皆様で声を掛け合い、お誘いあわせの上ご参加ください。今年も安全・安心で、笑顔あふれる花の台町内会にしたいと思っていますので、皆様の変なぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

午後から町会などで日頃活動されている約百名の方々一堂に会しました。冒頭、田村会長の挨拶（上掲）に続き地元マンドリンクラブ「アンサンブル宮崎台」による演奏は、お正月の定番曲ヨハンシュトラウスの「ラデツキー行進曲」を皮切りに「パリの空の下」「太陽がいっぱい」「君といつまでも」等。途中、大学の先輩（桂田町内会副会長）後輩（マンドリンクラブの指揮者山本雅三氏）によるギター二重奏「ラ・クンパルシエータ」等の演奏はさみ、会場からは「プラボー！」、盛り上がった会場は、中澤副会長の「乾杯！」の首領へ続きました。元気をくれた新年会でした。みんなで肩を組み晴れた日はともに喜び、雨の日はともに助け合うより良いコミュニティ作りに進むことを誓い合い、お開きとなりました。



＊小倉 美恵子

が増えており、「伝えること」。

フェ&レストラン「谷戸の屋号を名乗るこの場合は、先にお料理を供します。背景の、互いの認め合い、「旧」を目指します。

ヨン代表、文筆家

つたところから物語は始まります。

0120-871-798

e-miyazakidai@stepon.co.jp

てあります。

第1回 まちかどシェアオンライン

2020年10月31日（土）



第3回
まちかどシェア
オンライン
11月13日（土）
13:00～

出典）まちかどシェア | 第一回「まちかどシェアオンライン」の記録
http://machikado-share.com/?page_id=141



「地域デザイン会議 (新しい参加の場)」 の実施



「地域デザイン会議（新しい参加の場）」 の実施

（R3.5「区における行政への参加の考え方～区民会議 のリニューアルに向けて～」

「区における行政への参加」とは…

「市民が地域課題の解決に向けて、意見や提案をするため、主体的に話し合いの場に加わること」

※自治基本条例第22条に基づく概念です

これまで6期 12年間に渡り実施してきた
「区民会議」が担っていた機能です。

「地域デザイン会議（新しい参加の場）」 の実施

（R3.5「区における行政への参加の考え方～区民会議のリニューアルに向けて～」

制度運用の方向性

- 大都市における市民自治充実の観点から、身近な区を単位として、「新しい参加の場」を制度として保障・充実させるため、試行の取組と継続的な意見聴取を推進しながら、今まで以上に、より多くの市民が関わり参加しやすい機会の拡充を図る。
- 「新しい参加の場」については、一律の枠組みを最初から決めるのではなく、議題やテーマに応じて、その都度、弾力的に運用できる柔軟なしくみとする。
- より複雑化する地域課題に対応するため、「新しい参加の場」での対話による相乗効果と区役所と局等相互の適切な調整により、地域コミュニティにおける支え合う関係づくりと市民創発型の課題解決を推進する。

これからの取組



④

公共施設の地域化

公共施設の地域化について

多様なつながりを育む地域の居場所「まちのひろば」の創出に向けて、
既存の公共施設を地域の皆さまにこれまで以上に**利活用**をしていただく
「公共施設」の地域化を進めています。

学校 市民館 図書館
こども文化センター
いこいの家 庁舎
公園 河川 道路 等

より使いやすい
公共施設へ

地域の皆様にとっての
活動場所の増加へ

公共施設の地域化に向けた取組内容

- ◆ **利用時間外や余剰スペースの活用**
→ 既存の施設の本来の利用が阻害されない部分について、利活用を進めていく
- ◆ **地域ニーズに応じた柔軟な利用**
→ 利用者のアンケートによるニーズの把握や、地域や利用者が主体となった運営やルール作り 等
- ◆ **施設間の連携**
→ 情報の共有や施設間の連携強化 等
- ◆ **市民活動団体等に対する支援の充実**
→ 営利を目的としない活動の応援、行政の後援 等

公共施設の地域化を進めるために

まずは地域の皆様に、公共施設の柔軟な使い方の事例を**知っていただく**ことが大切

既存の施設への固定観念・思い込み

この施設は
特定の世代の
人しか使えないよね



この施設で
こんな使い方は
だめだよな



新たな気づき・発見

へ～こんな使い方
できるんだ



この場所でこんな
ことしていいんだ！

柔軟な公共施設の活用事例①

いつもの道路が落書きのできるひろばに



市道小杉21号線を活用した社会実験

柔軟な公共施設の活用事例②

使われていなかった公園の砂場がまちのいこいの場へ



京町第三公園

柔軟な公共施設の活用事例③

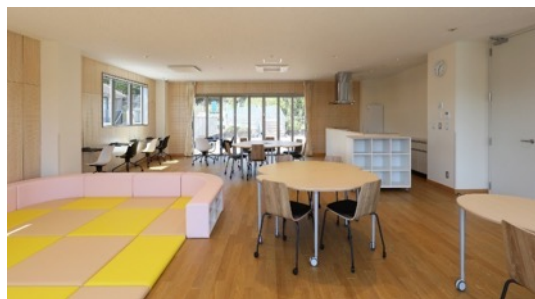
河川敷で火を使ったイベントもできる



多摩川河川敷丸子橋でのキャンドルナイトイベント

柔軟な公共施設の活用事例④

多様な使い方ができる新たな公共施設



生田出張所新庁舎

柔軟な公共施設の活用事例⑤

空地进行有効活用した賑わいづくり



登戸区画整理地 ミライノバ

⑤

(仮称) 宮前区らしい
ソーシャルデザイン
センター像とは？

みなさんとのこれまでの検討を
もとに、仮説を考えました

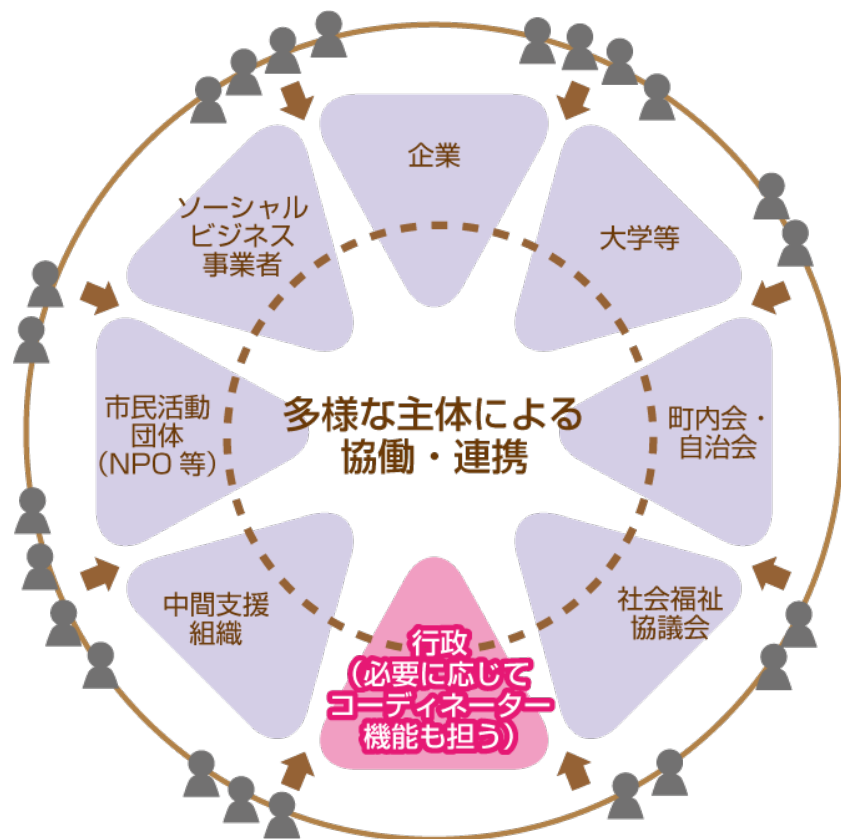
仮説

宮前区らしい しくみは、

区内の豊かな活動を活かし、
主体的に活動する既存の活動や
人をつなぎ、 さらに豊かにして
いく「しくみ」や「しかけ」

仮説

だれが？

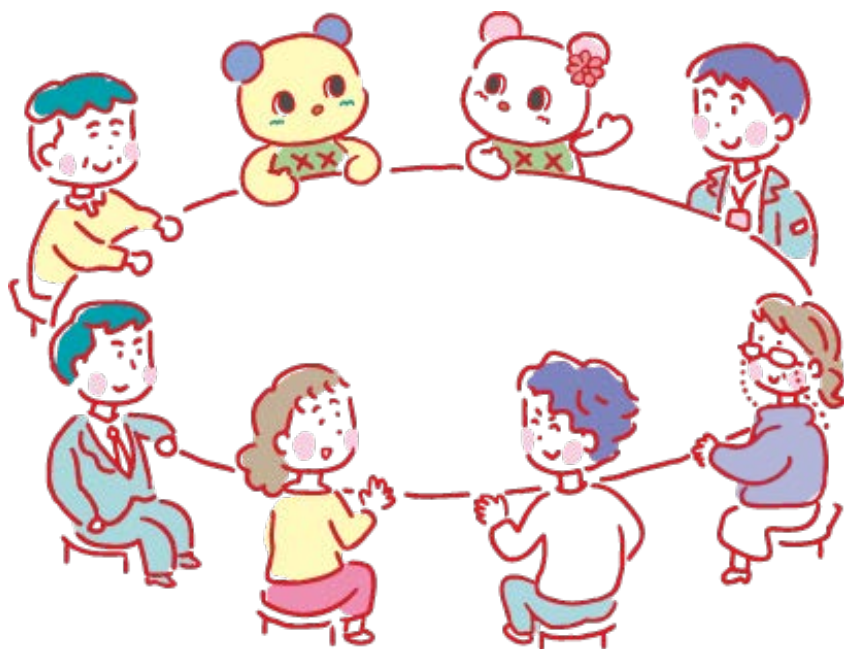


宮前区の多様な主体

による協働・連携
(行政も一員)

仮説

どんなカタチで？



多様な主体が
協働・連携する
プラットフォームとなる
「場」が必要



「ラウンドテーブル」

仮説

どんなこと・支援を？

＼“みやまえ取り組み隊”の
活動の手助けになるかも？！

6つのアイデアの柱

人やノウハウをつなぐ

場所のシェアや活用の工夫

情報発信を支援する

活動の運営を支える

次世代の担い手を育てる

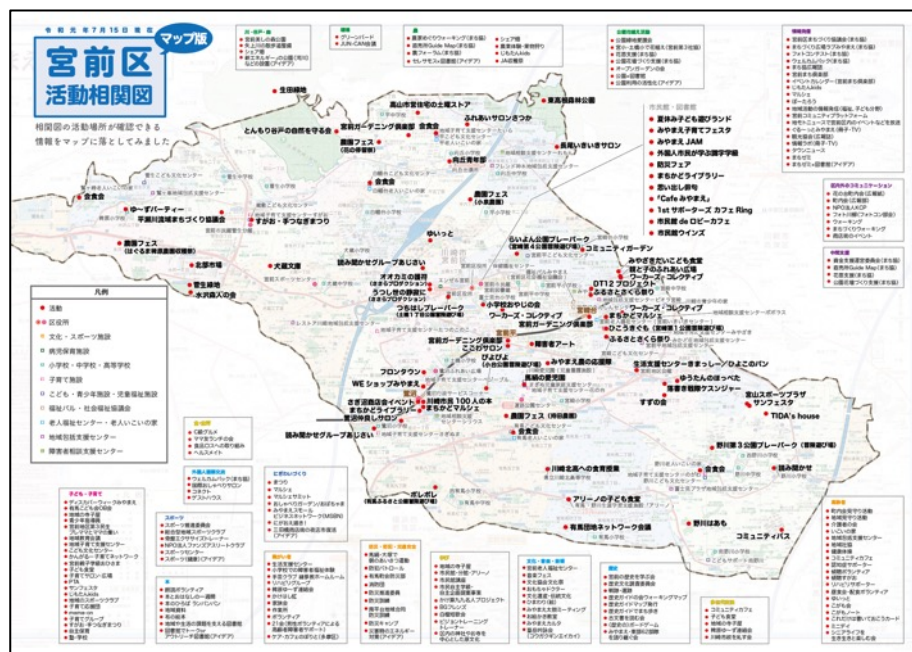
宮前区らしさを応援する

課題解決に必要な
支援として

6つのアイデアの柱

が基本の機能

どこで？



特定の場所（拠点等）
ありきではなく

／宮前市のポイント／

求められる「機能」を
区内の多様な主体が連携
しながら実現につなげて
いけると良い

どうやって運営？

長尾住宅いきいきサロン

8年間も休まず続いている、毎週1回ボランティアで運営されているサロン

#高齢者 #地域の見守り #団地集会所
コース1

フレンド神木地域包括支援センター

の「いいね！」ポイント

- ☐ 交流イベント等に利用できる可能性のあるスペースがある！
- ☐ 高齢者のことなら何でも相談できる！
- ☐

TIDA's house

DIYで空き家をリノベしてつくった、野川エリアの子どもやママたちの新たな集いの場

#地域の見守り #空き家活用
コース5

ここわサロン

の「いいね！」ポイント

- ☐ 宮前平駅前に100円の飲み物でくつろげる場所がある！
- ☐ 市民ボランティアによる運営を続けてきた経験がある！
- ☐

多様な資源（人・ノウ
ハウ・場など）を
みんなで持ち寄る

＼宮前区のポイント／

行政からの補助金などでは
なく、多様な主体が持ち寄
る資源を活かしながら運営

宮前区での 今年度の目的と 進め方について



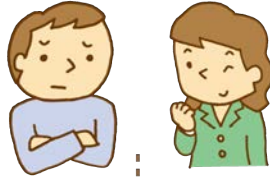
ワークショップ全体の目的

- 宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施してみよう！
- お試し実施の体験をもとに、宮前区らしいソーシャルデザインセンターとは？を具体的にまとめよう

「ラウンドテーブル」とは？

プロジェクトオーナー

必要な情報が
シニアに
届かない…

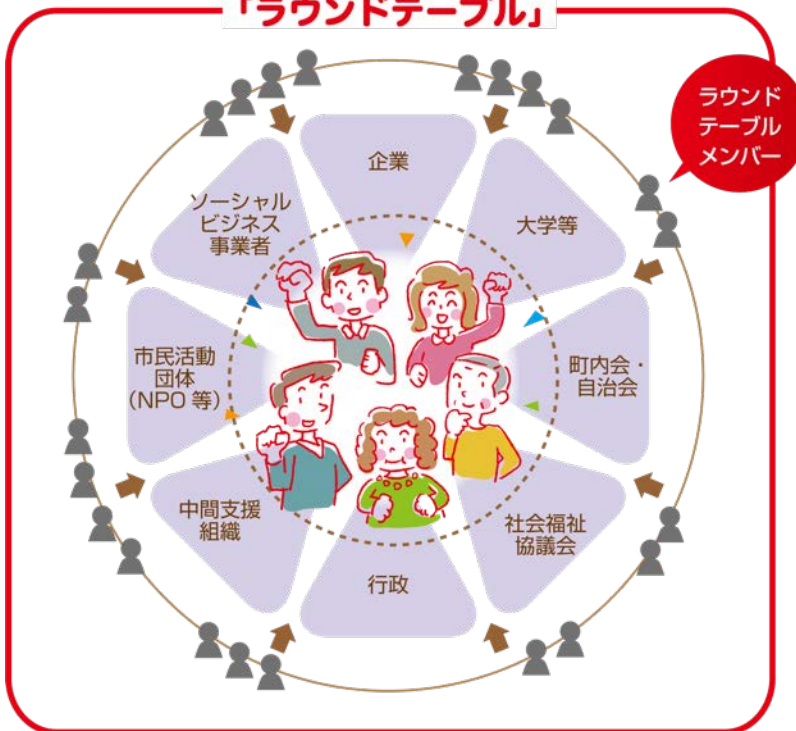


まちでもっと
交流できる場を
つくりたいな！

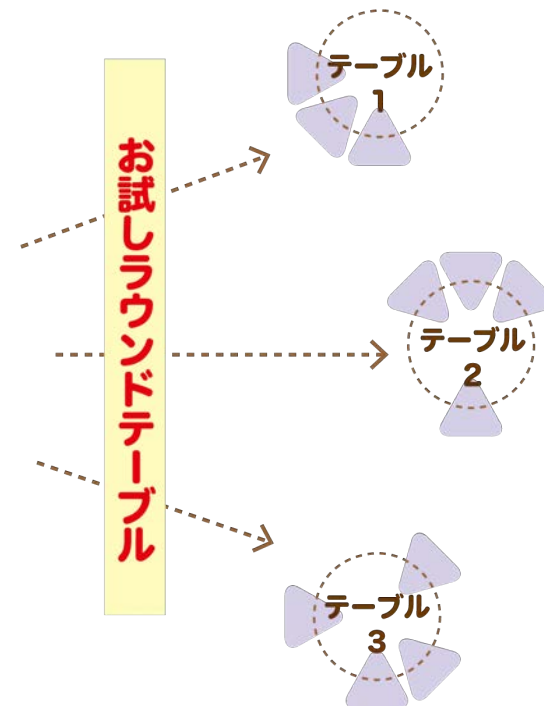
課題・実現したいこと

多様な主体が 協働・連携する プラットフォーム

「ラウンドテーブル」



多様な主体が 協働・連携する プラットフォーム



ワークショップ全体の進め方

本日

令和3(2021)年
11月

12月

令和4(2022)年
1月

2月

3月

ミーティング1

全体会

11月3日(水・祝)
13:30~16:30

キックオフ

これまでの取組を振り返り、
ラウンドテーブルを
キックオフしよう

ミーティング2

分科会

令和3(2021)年
12月 ~ 令和4(2022)年
1月

ラウンドテーブル お試し実施

ラウンドテーブルで
地域でやりたいアクションを応援しよう

効果検証
アンケート

ミーティング3

全体会

令和4(2022)年
2月/3月

お試し実施の 検証・まとめ

お試し実施をもとに
宮前区らしいしくみを
まとめよう

まとめ

内容／参加のイメージ

- プロジェクトについて知る
- 気づき・アイデアの共有
- プロジェクトをどのように応援できるか？一緒に考える（ミーティング1～2回程度）
- プロジェクトのイベントに参加する
- お試しラウンドテーブルはどうだったか？アンケートで振り返る
- お試し実施を振り返りながら、効果を検証する
- 宮前区らしいしくみの具体化

3つのプロジェクト



辻 麻里子さん
浅野 真紀さん

公園×マルシェで
「拡大まちかど
シェア」



西村 ルミさん

シニアが気軽に
立ち寄れる場（宮前
区版道の駅？）をつ
くってみよう！



（株）コジマさん・
（株）アクロスソリュー
ションさん・森山隆幸さん
（宮前区役所）

民間が保有する地域
の場と地域活動を
マッチングしよう！

休憩 (15分)

